

<https://www.jsaa-okinawa.org/>



日本歌唱芸術協会 2022 年度

8 月 23 日 那覇バプテスト教会聖堂

研修会：日本歌曲

例会：歌唱学習

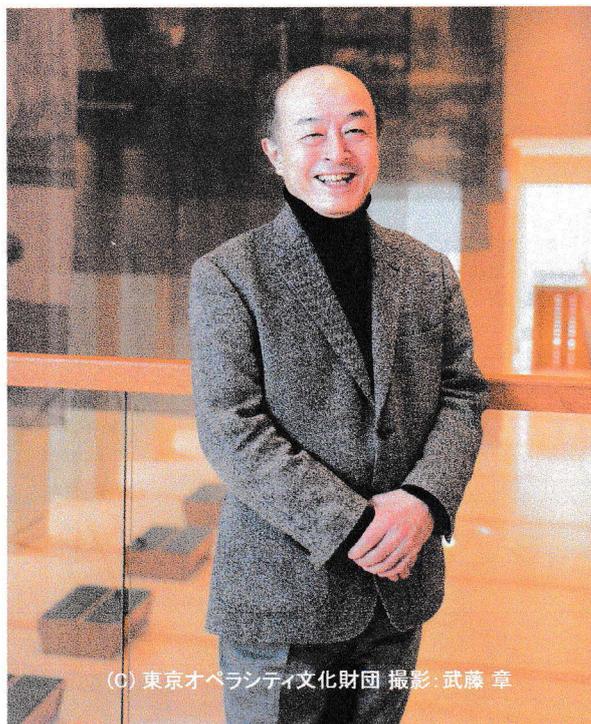
◎ 新型コロナウイルス感染防止策にご協力お願いいたします。

- ・入場時に手指消毒、体温測定ください。体温 37.5 度以上の方は入場をご遠慮ください。
- ・入場時に連絡先を記入ください。
- ・マスク装着の徹底をお願いいたします。
- ・収容人数は最大 200 名です。先着順にご着席ください。

研修会

講師：作曲家 池辺 晋一郎

- ❖ 講演 13:00-13:30 : 日本の作曲家の歴史、詩と作曲について
- ❖ 演奏会 13:40-14:45 : 池辺晋一郎作曲「日本歌曲」※独唱は作曲年順の演奏。



(C) 東京オペラシティ文化財団 撮影: 武藤 章

茨城県水戸市出身。東京芸術大学大学院修了。

1966年日本音楽コンクール第1位。以後、音楽之友社賞、尾高賞3度、ザルツブルクTV オペラ祭優秀賞、イタリア放送協会賞3度、国際エミー賞、毎日映画コンクール音楽賞3度、日本アカデミー賞優秀音楽賞9度、放送文化賞 JXTG 音楽賞受賞。文化功労者。紫綬褒章受章。旭日中綬章受章。

作品：交響曲 10 曲、ピアノ協奏曲3曲、チェロ協奏曲、オペラ「死神」「鹿鳴館」「高野聖」など 11 作、管弦楽曲、室内楽曲、合唱曲他。映画「影武者」「楢山節考」「うなぎ」「スパイ・ゾルゲ」「劔岳・点の記」「信虎」他。TV「独眼竜政宗」「元禄繚乱」他。演劇 音楽約 500 本。著書「空を見てますか1~13」「モーツァルトの 音符たち」他。2009年3月まで13年間NHKTV「N響アワー」、2015年~2021年3月NHKFM「N響ザ・レジェンド」出演。

東京音楽大学名誉教授。東京オペラシティ、石川県立音楽堂、姫路市文化国際交流財団の各監督等。日本歌唱芸術協会名誉理事

演奏会プログラム ※独唱曲は作曲年代順に演奏・記載

ピアニスト：仲村渠 悠子

- ▣ 六つの子守歌(詩：別役実)より 1.風の子守歌 喜屋武 いつみ Sop.
- ▣ 何れの処に在りや詩仙の影-中国旅情(詩：片岡輝)より1.古廊—山西省太原近郊にて 仲本 博貴 Bar.
- ▣ 何れの処に在りや詩仙の影-中国旅情(詩：片岡輝)より2.雑草—北京・故宮にて 西條 智之 Bar.
- ▣ 恋する猫のセレナーデ(詩：なかにし礼) 金城 理沙子 Sop.
- ▣ 光をください(詩：嵯峨恵子) 豊田 喜代美 Sop.
- ▣ さようならの影(詩：小作久美子) 知念 利津子 Sop.
- ▣ あの夏のまま(詩：窪島誠一郎) 根神 夢野 Sop.
- ▣ 室生犀星の二つの詩(詩：室生犀星)より 1.美しき川は 友利 あつ子 Sop.
- ▣ ちょっといい朝-二重唱のために(詩：片岡輝) 豊田 喜代美 Sop. 仲本 博貴 Bar.

※使用楽譜：全音楽譜出版社 ISBN978-4-11-728263-4

出演者プロフィール（出演順）2022年8月現在

喜屋武 いつみ Itsumi Kyan ソプラノ

石川県出身。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院声楽専修修了。

修士演奏はヘンデル作曲《メサイア》からソプラノの全アリア、および、J. S. バッハ作曲《結婚カンタータ》全曲。副論文は「G. F. ヘンデル《メサイア》のアフェクト表現について—ソプラノ・アリアを中心に—」。豊田喜代美に師事。

現在、沖縄県内の高等学校に教諭として勤務している。

仲本 博貴 Hirotaka Nakamoto バリトン

沖縄県出身。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学大学院声楽専修修了。ドイツ・国立ミュンヘン音楽・演劇大学大学院修了。

これまでに、喜納健仁、ウーヴェ・ハイルマン、フリーダー・ラング、ローランド・ヘルマン、ニコラ・ロッシ・ジョルダーノに師事。

第75回、第81回、日本音楽コンクール声楽部門入選。第5回長久手オペラ声楽コンクール三位。琉球新報音楽コンクール一般の部一位。

在独中、ミュンヘン・プリンツレゲンテン劇場、ニュルンベルク市立歌劇場にてグルック作曲のオペラ《メッカの巡礼》のヴェルティゴ役（指揮アレクサンダー・リープライヒ、演出ヴェラ・ネミローヴァ、ミュンヘン室内楽管弦楽団）等にオペラ出演した他、ドイツやスペインの教会やコンサートホールにて宗教曲のソリストを務めた。

帰沖後は、小澤征爾音楽塾、サイトウキネンフェスティバル松本（現セイジ・オザワ松本フェスティバル）主催公演において、《ヘンゼルとグレーテル/ペーター役》他、三枝成彰作曲《KAMIKAZE-神風》等出演。

地元沖縄にて開催された沖縄国際音楽祭「第九 in

沖縄」では、バリトンのソリストとして、世界的ソプラノ歌手エヴァ・メイ、ディミトラ・テオドシユと共演するなど、これまでに国内外にて数々のオペラ、オラトリオ、コンサートに出演している。2021年9月のリサイタルにて演奏したシューベルト作曲《白鳥の歌》（全曲/ピアノ：内海博子）が好評を博し、第55回・第56回沖縄タイムス芸術選奨奨励賞を受賞。

また、演奏活動の傍ら、合唱団「いーすたん」、女声合唱団「シャイニー」、合唱団「海音」、各合唱団の指揮者を務めながら、宗教曲やオペラ等のオーケストラ付き作品の合唱指導者としても活動している。

沖縄県立芸術大学非常勤講師。日本声楽発声学会、日本歌唱芸術協会（理事/代表補佐）、各会員。

予定：リサイタル。本年9月24日（土）17時開演
パレット市民芸術劇場にて。

演奏曲は、《リーダークライス op. 24》および《詩人の恋》

共演ピアニストは内海博子

後援：日本歌唱芸術協会

西條 智之 Tomoyuki Saijo バリトン

東京都生、埼玉県育ち。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学大学院声楽専修修了。同大学助手を経て、イタリアのクラウディオ・モンテヴェルディ音楽院へ留学。

平田栄寿、小池哲央、市原多朗、五郎部俊朗、Ennio Capece、Paolo Coni、Antonio Camponogara、Markus De Prosperis に師事。

チェゼーナ・ボンチ歌劇場『リゴレット』タイトルロールを務める（パオロ・コニー監修、アルフォンソ・アントニオツィ演出）。他に、『カルミナ・ブラーナ』バリトン・ソロ、『奥様女中』ウベルト役/ボルツァーノ市立劇場、『魔笛』パパゲーノ役/ヴェ

ノーザ劇場、『ドン・ジョバンニ』レポレッロ役/ヴィラツァーノ劇場、『アトランティスの皇帝』タイトルロール(プッチーニ歌劇場)などイタリア各地の劇場に出演。

県内では沖縄県立芸術大学開学20周年記念オペラ公演『ファルスタッフ』フォード役、浦添市創出事業琉球オペラ『アオリヤエ』尚寧王役、沖縄県立芸術大学音楽学部創立30周年記念第25回オーケストラ定期演奏会L.V.ベートーヴェン《交響曲第9番ニ短調作品125》バリトン・ソロ(指揮・尾高忠明)などを務める。

第16回おきでんシュガーホール新人演奏会優秀賞。第6回ルーマニア国際音楽コンクール声楽部門第3位(1位なし)及びオーディエンス賞ルーマニアラジオ文化局賞。第11回大阪国際音楽コンクール一般の部オペラコース第1位及び宇野収賞。第30回飯塚新人音楽コンクール入選。第14回さくらびあ新人コンクール第1位さくらびあ大賞。第32回宝塚ベガ音楽コンクール入選。第3回“ジャンジャコモ・グエルフィ”国際声楽コンクール第1位。

2013、2014年度宗次エンジェル基金/公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家奨励学生。

日本歌唱芸術協会(理事)会員。

現在、沖縄県立芸術大学音楽資料管理室にて勤務。
予定:リサイタル。2023年春、りとるぷれいミュージック(東京都・国分寺市),入間市文化創造アトリエAMIGO!(埼玉県・入間市)にて。
後援:日本歌唱芸術協会※2022年8月現在予定

金城 理沙子 Risako Kinjo ソプラノ

沖縄県出身。沖縄県立開邦高校芸術科音楽コース在学中より声楽を学ぶ。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。卒業時、西銘順治賞受賞。同大学大学院音楽芸術研究科声楽専修修了。

これまでに坂名城律子、豊田喜代美、市原多朗、五郎部俊朗の各氏に師事。

第46回新報音楽コンクール声楽部門一般の部第1位および特賞受賞。第20、25回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディション入選。第71回全

日本学生音楽コンクール大学の部北九州大会第2位。平成26、27年度公益財団法人青山財団奨励学生。2019年沖縄県で開催の第43回全国育樹祭にて国歌独唱。2021年日本オペラ協会主催《キジムナー時を翔ける》マチー役にてオペラデビュー(新宿文化センター大ホール)。

現在、演奏活動の傍ら、2022年より「ハートFMなんじょう」にて、ラジオ音楽情報番組をスタート。また根神夢野と組み、うちな~ソプラノデュオ【ゆめりさ】としてYOUTUBEにも挑戦している。日本演奏連盟,日本歌唱芸術協会,各会員。

豊田 喜代美 Kiyomi Toyoda ソプラノ

東京都出身。2010年4月から2017年3月(定年退職)沖縄県立芸術大学教授。桐朋学園大学音楽学部声楽科卒業。ドイツ・ケルン音楽舞踏大学マスタークラス留学(E. Bosenius研究室)。国立法人北陸先端科学技術大学院大学博士前期・後期課程修了。博士(知識科学/論文:クラシック音楽歌唱における知識創造モデル—スキルサイエンスからの接近)。

ドイツ国家資格教会音楽家C取得(2019年)。萩谷納、柴田陸、柴田喜代子、E.ボゼニウスに声楽、ケルン・ミラノ・ローマ・ウィーン各地にてボイスコーチのJ.スターノ、S.パッディ、コレペティオアのF.フェッラーリス、S.ローチ、F.エーガーマン、H.フィールテル、W.フックスベルガーの許で研鑽。

指揮者の小澤征爾、若杉弘、朝比奈隆、渡邊暁雄、秋山和慶、尾高忠明、高関健、大野和士、小林研一郎、岩城宏之、井上道義、沼尻竜典、大友直人、佐藤功太郎、黒岩英臣、ホルスト・シュタイン、ロビン・オニール、ヘルベルト・ケーゲル、ズデニェク・コシュラー、ジェームズ・ロッホラン他の下、オペラ作品では主に東京二期会、日生オペラ劇場、東京オペラプロデュース、他各公演に出演し、《フィガロの結婚》ケルビーノ・スザンナ、《ドン・ジョバンニ》ツェリーナ、《イドメネオ/秋山和慶》

イリア、《コジ・ファン・トゥッテ/飯守泰次郎・秋山和慶》デスピーナ・フィオルデリージ、《セヴィリアの理髪師》ロジーナ、《ペレアスとメリザンド/指揮：若杉弘・黒岩英臣》メリザンド、《こうもり/指揮：尾高忠明》ロザリンデ、《魔弾の射手/指揮：大友直人》アガーテ、《夕鶴/指揮：團伊玖磨》つう、《ヴォツェック/指揮：小澤征爾》マリー、《トスカ/指揮：高関健》、《蝶々夫人》、《ファルスタッフ/指揮：小澤征爾》ナンネッタ、《ホフマン物語/指揮：小澤征爾》ジュリエッタ・オリンピア・アントニア・ステッラ全4役、他、日本創作作品初演は間宮芳生作曲オペラ《夜長姫と耳男/夜長姫/水戸芸術館柿落し》夜長姫、池辺晋一郎作曲オラトリオ《呼び交わす山河/預源院/石川県立音楽堂柿落し》、モノオペラ柳慧作曲《火の遺言》、NHK オペラ《平泉炎上》かえで、他、20作品以上の主役を歌っている。オーケストラ作品では、新日本フィル、日本フィル、東京都交響楽団、東京交響楽団、NHK 交響楽団、新星日響、シティフィル、大阪フィル、大阪センチュリー響、関西フィル、札幌交響楽団、九州交響楽団、群馬交響楽団、オーケストラアンサンブル・金沢、名古屋フィル、北オランダ交響楽団、ニューヨーク・シラキューズ交響楽団、他の定期演奏会に出演し、ベートーヴェン作曲《ミサ・ソレムニス》《交響曲第九番》、モーツァルト作曲《レクイエム》《モテット》他、J.S.バッハ作曲《マタイ受難曲》《ロ短調ミサ曲》他、ブルックナー作曲《ミサ曲》他、ヘンデル作曲《メサイア》他、ブラームス作曲《ドイツ・レクイエム》他、マーラー作曲《交響曲第二番》《交響曲第四番》《子供と角笛》《交響曲第八番/Sop II/ルチア・ポツプ、ベルンハルト・ヴァイクルと共演》、プーレーズ作曲《プリスロンプリ》日本初演、ウエッバー作曲《レクイエム》、他のソリストを演奏。ドイツ在日大使館主催リサイタル（ボン、ラ・レドゥートゥにて）、米国在日大使館主催リサイタル（ワシントン D.C./コーコラン美術館ホールにて）、ニューヨーク・カーネギーホー

ル(小)、ドイツ・ケルン日本文化会館などで、J.S.バッハ作曲カンタータ、モーツァルト作曲モテット、日本歌曲を演奏。CDは『N響90周年記念シリーズ/若杉弘指揮/ヘンデル・メサイア（モーツァルト編）』『新日本フィル/朝比奈隆/ニーベルングの指輪全曲』他、多くの演奏会ライブ録音の他に、「木下牧子浪漫歌曲集」、「貴志康一日本歌曲」（オーケストラ版/都響都響定期演奏会ライブ）、「無伴奏による日本の唱歌」他。

2018.9-2022.3 東京大学非常勤講師(芸術創造連携研究機構の授業『楽器としての身体：声楽の実践と科学/目的：個々人の身体能力活性化および歌唱による芸術創造体験』)を身体運動科学者・工藤和俊氏と共に担当し、“Arts-Based Method in Education Research in Japan”(Brill Publishers)の中の“Music-Based/Inspired Scientific Research and Liberal Arts Education”を工藤和俊氏と執筆した(2022年2月出版)。歌唱芸術の及ぼす人への作用についての研究は継続している。

https://researchmap.jp/gratiamusic1_11_4

日本歌唱芸術協会(代表理事)、ウィーン・ハプスブルク宮廷芸術家友好協会、グレゴリオ聖歌学会、東京二期会、日本演奏連盟、日本声楽発声学会(理事)、各会員。

第11回ジローオペラ賞受賞(対象:セヴィラの理髪師/ロジーナ)。第16回サントリー音楽賞受賞(対象:オペラ・ホフマン物語/全4役、コジ・ファン・トゥッテ/デスピーナ、オラトリオ・天地創造/ソプラノソロ、毎日ゾリステン主催リサイタル)

<https://www.suntory.co.jp/sfa/music/prize/winner.html>

予定：①2023年秋、リサイタル。

「日本の作曲家とのコラボレーションI」

木下牧子モノオペラ《夏目漱石：夢十夜》より

“暁の星”改訂版初演

貴志康一、間宮芳生、三善晃、池辺晋一郎の各作品

ピアノは渡辺健二 マネジメント：東京二期会

後援：日本歌唱芸術協会 ※2022年8月現在予定

②2023年秋、日本歌曲CD制作/フォンテック

知念 利津子 Ritsuko Chinen ソプラノ

沖縄県出身。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学大学院演奏芸術声楽専修修了。

在学中、大学オペラ公演 大勝秀也指揮「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役出演。

第10回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディショングランプリ受賞。

大学院修了後ドイツ・マールブルク大学交換留学生プログラムとして在学中、ニュルベンルクにてM.de Francesca-Cavazza の下で研修、その後イタリア・ボローニャへ移動し、コレペティトゥアC.Giardini の下で演奏解釈のレッスン受講、F.Cordeiro Opa の下で発声を学ぶ。約2年間の音楽研修後に帰国。

帰国後、琉球交響楽団定期公演、大勝秀也指揮「ヴェルディ・レクイエム」ソプラノソロ、沖縄県立芸術大学洋楽定期公演、尾高忠明指揮「ベートーヴェン交響曲第九番」ソプラノソロ他、モーツァルト、フォーレ・レクイエムなどの宗教曲 ソリスト、團伊玖磨作曲「紀州路」「木曾路」などの邦人作品演奏、サロンコンサートなど積極的に演奏活動を行う。また、指揮者大友直人氏が芸術監督を務める琉球交響楽団とは2007年より定期演奏会やコンサートに幾度も出演。2009年、元FC琉球監督F.トルシエ氏のフランス国家勲章授与式にて演奏。(於：フランス大使公邸)。オペラの舞台に於いては、琉球交響楽団定期演奏会、金井誠指揮オペレッタ《こうもり》ロザリンデ役、アンサンブルX企画《電話》ルーシー役、オペラ愛ランド主催公演《修道女アンジェリカ》題目役、《魔笛》侍女1役、南城市文化の町づくり事業実行委員会主催、中村透作曲、大勝秀也指揮《あちやーあきぬ島〜》官女役を演じる。沖縄県本土復帰40周年記念式典にて国歌演奏(演奏：琉球交響楽団)。2016年、「知念利津子ソプラノリサイタル」開催(主催：南城市文化の町づくり事業実行委員会)。2017年、ジョイントリサイタル開催(沖縄県立芸術大学文化振興財団助成事業)。2018年、千葉県市川市芸術祭・

文化祭・市響「交響楽の午後」(第401回)において大勝秀也指揮ワーグナー作曲オペラ《トリスタンとイゾルデ》より「愛の死」を歌唱。2019年、ジョイントリサイタル開催(自主企画)、2020年、ソロコンサート開催(自主企画)。2021年、日本オペラ振興会・日本オペラ協会公演、星出豊指揮、栗国淳演出《キジムナー時を翔ける》マチー役で出演(新宿文化センター)。

これまでに声楽をUwe Heilmann、外間三枝子、澤田文彦、M.de Francesca-Cavazza、C.Giardini、F.Cordeiro-Opa、高丈二、牧野正人の各氏に師事。2008年、G.トウッチ マスタークラス受講。2017年、エヴァ・メイ マスタークラス受講。

第52回沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞。

日本オペラ協会正会員、藤原歌劇団準団員。日本演奏連盟、日本歌唱芸術協会(幹事)、各会員。沖縄県内の声楽家有志が集まる「歌あしびなあ研究会」代表。沖縄県立芸術大学非常勤講師。

知念利津子ホームページ

<https://chinenritsuko.jimdofree.com/profile-1/>

予定：演奏会。

本年8月27日(土14時、てだこ小ホール
「ニホンウタ木下牧子の世界」

演奏者と演奏曲：知念利津子《愛する歌》、
友利あつ子《蜘蛛の糸》朗読・独唱・クラリ
ネット・ピアノのための音楽物語

共演者：ピアノ大城伸吾、クラリネット根
間安代、[朗読]花燈明佳、

企画：知念利津子

根神 夢野 Yumeno Negami ソプラノ

沖縄県出身。沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院演奏芸術専攻声楽専修修了。

これまでに久高将玄、片桐仁美、五郎部俊朗、クリスティーナ・ラキ、各氏に師事。

2018年4月～8月ドイツ国立ブレーメン芸術大学に姉妹校留学生として留学。留学中、ブレーメン芸術大学の室内合唱団の一員として、ブレーメン

各地の教会やドイツ・ヘルゴランド島への演奏ツアーに参加。また、“LAUDATE, CANTATE”合唱団の一員として、J. S. バッハ《ロ短調ミサ》では、憧れのドロテー・ミールズと共演するなど、宗教曲や合唱音楽の研鑽を積んだ。ハンガリーのブダペストにてクリスティーナ・ラキによるマスタークラスを受講。

これまでに沖縄県立芸術大学洋楽定期公演《カルミナブラーナ》のソプラノソロ、琉球交響楽団0歳児からのコンサート、《メサイア》演奏会(抜粋)等に出演。その他オペラでは、モーツァルト作曲《魔笛》童子I、プッチーニ作曲、《修道女アンジェリカ》ドルチーナ、フンパーディンク作曲、《ヘンゼルとグレーテル》グレーテル、露の精に出演した。合唱指導者としての活動では、アンサンブルコンテスト中学校部門全国大会2回 出場。全日本合唱コンクール中学校混声部門、全国大会出場へと導く。またその様子を沖縄テレビ放送ニュース番組「OTV LIVE NEWS イット!」内の【ひらけ!未来への扉】にて、沖縄から27年ぶりの全国大会出場が特集された。

現在、演奏会活動や合唱指導を行う傍ら、金城理沙子と組み、うちな~ソプラノデュオ【ゆめりき】として YOUTUBE にも挑戦している。演奏、合唱指導共に「人と人とが繋がる演奏」をキャッチフレーズに、活動を続けている



日本歌唱芸術協会会員。

友利 あつ子 Atsuko Tomori ソプラノ

沖縄県出身。武蔵野音楽大学声楽科卒業、同大学大学院修了。

在学中、《フィガロの結婚》バルバリーナ役(大学オペラ公演, ヨゼフ・ツィルヒ指揮)。

第17回練馬文化センター新人オーディション優秀賞。

コンサートは、白石卓也指揮「ベートーベン作曲交響曲第九番」ソプラノソロ(中央大学定期演奏会)、J. S. バッハ《ロ短調ミサ》ソプラノ1, ハイド

ン《四季》ハンネ(中央大学音楽研究会混声合唱団主催)、琉球交響楽団主催「琉球交響楽団父の日ファミリーコンサート」他に出演。

オペラは、新国立劇場主催オペラ公演《光》声役(創作委託作品・世界初演, 若杉弘指揮, 一柳慧作曲)、《サロメ/R.シュトラウス作曲》奴隷役(ラルフ・ヴァイケルト指揮)、《こどものためのオペラ劇場スペース・トゥーランドット》(三澤洋史指揮)、《ローエン格林/ワーグナー作曲》小姓役(ペーター・シュナイダー指揮)に出演。その他、《カルメン/ビゼー作曲》フランスキータ役(小崎雅弘指揮, 千葉県・財団法人千葉県文化振興財団主催及び柴田真郁指揮, 沖縄オペラアカデミー主催)、《愛の妙薬/ドニゼッティ作曲》アディーナ役(陽奏会主催)、《あちやーあきぬ島》官女役(大勝秀也指揮, 中村透作曲, 南城市文化のまちづくり事業実行委員会主催)。

声楽を平良勝、平良公子、中西八寿子、オブラスツォワ、田中淑恵、平田典之、田手道子の各氏に師事。2017年、エヴァメイ マスタークラス受講。東京二期会会員。日本歌唱芸術協会(理事)会員。予定:演奏会。

本年8月27日(土14時、てだこ小ホール

「ニホンウタ木下牧子の世界」

演奏者と演奏曲: 知念利津子《愛する歌》、友利あつ子《蜘蛛の糸》朗読・独唱・クラリネット・ピアノのための音楽物語

共演者: ピアノ大城伸吾、クラリネット根間安代、[朗読]花燈明佳、

企画: 知念利津子

仲村渠 悠子 Yuko Nakandakari ピアニスト

沖縄県出身。桐朋学園女子高等学校音楽科、同大学音楽学部、同研究科を最高点にて修了。ドイツデトモルト音楽大学首席卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。これまでに上地昇、大坪サイ、日比谷友妃子、高良芳枝、ミハイル・ボスクレセンスキー、ジャン・エッフラム・バブゼ、アナトール・

ウゴルスキー、アンドラーシュ・シフらに師事。2003年にドイツに留学、卒業後は、デトモルト音楽大学のコレペティトアとして後進の指導にあたる他、ドイツ国内、ギリシャ、韓国、中国にてオーケストラとの共演、室内楽、ソロの演奏活動を行う。通常のソロリサイタルにオリジナル曲を交え、観客から与えられるテーマをもとに即興演奏するという独自の演奏スタイルは、「Grosse Talent (大きな才能)」「Yukos schöne Welt (悠子の美しい世界)」「Meisterin der Tasten (鍵盤のマエストロ)」等、ドイツ国内の新聞各社に取り上げられる。2015年6月には、自作のトリオ「3つの小品」が、ドイツリートベルクの修道院にて演奏された。

伴奏者としての信頼も得ており、これまでにヨゼフ・キス (デトモルト音大オーボエ教授)、イ・チョルウォン (延世大学トロンボーン教授)、キム・ウォンスン (トランペット奏者)、工藤すみれ (ニューヨークフィルハーモニー管弦楽団チェロ奏者)、村上淳一郎 (ケルン WDR 交響楽団首席ビオラ奏者)ら様々な音楽家と共演を重ねている。

2016年9月、第6回 Sejong Dream Tree Korean Traditional Orchestra (韓国の伝統楽器によるオーケストラ) & Sejong Dream Tree Orchestra 合同コンサートにてオーケストラとピアノ一台用 (オリジナルはピアノ2台) に編曲された「サンサーンスの動物の謝肉祭」を演奏。同年11月には、韓国の国立アジア文化殿堂より第1回 Anniversary Performing Arts-Festival in Gwangju に招待され若いピアニストたちへの指導、および韓国新進気鋭の作曲家キム・ウンへ、ハン・デソブ、イ・ムンソク等の四手連弾作品を披露。2019年「仲村渠悠子コンサートシリーズ Vol.1」をパレット市民劇場 (沖縄) にて開催。同年12月、中国・長春にてリストピアノ協奏曲第一番を、吉林省東北師範大学オーケストラと共演。吉林省東北師範大学にて、即興演奏特別授業を行う。2021年2月、夫チョウ・ジャンフン氏 (指揮者、作曲家) と共に「仲村渠悠子オーケストラプロジェクト～音のスケッチ～」

を企画。オーケストラとピアノ用に編曲された自作品を収録。自作品、即興演奏を収録したCD「Spring Garden」、「To My Children」、「Lulu」がある。2022年3月、ショパン全曲演奏会 Vol.1「仲村渠悠子ピアノコンサート～ショパンとその愛弟子」開催 (パレット市民劇場)。

1992年度PTNA ピアノコンペティション全国大会 E級 銅賞・全日空賞・ソニー賞受賞。第5回おきでんシュガーコンクール新人演奏会優秀賞。第13回彩の国埼玉ピアノコンクール一般の部第1位・県知事賞受賞。第10回日本国際室内楽コンクール第4位。ギリシャレシムノン ザイラー国際ピアノコンクール ディプロマ賞受賞。

ドイツデトモルト音楽大学非常勤講師 (2009-2010) ドイツデトモルト音楽大学講師 (2010-2015) 日本バッハコンクール、ブルグミュラーコンクール、全日本ピアノコンクール審査員。

現在、沖縄県立芸術大学非常勤講師。一般社団法人日本音楽協会南日本支局副委員長。日本歌唱芸術協会 (幹事) 会員。

仲村渠悠子ホームページ

<https://yukonakandakari.com/>

歌曲ピアノ伴奏で感じること

仲村渠 悠子



歌曲の伴奏は面白い。影になり寄り添うだけでなく、詩から醸し出される情景を自分なりに解釈して積極的に表現するようにしている。歌い手と共に呼吸をし、詩の世界に入り込んでいけるのも楽しい。池辺作品からピアノ伴奏の魅力を変えて感じている。

歌って感じたこと

聴く人は100人100とおりに感じます。演奏者は今回の演奏に際し、何を感じているのか…。

核心を約100文字に凝縮して、演奏順にお伝えさせていただきます。

喜屋武 いつみ ソプラノ



1. 風の子守歌

全ての「過去」を包み込むような歌詞だと思った。亡くなった人にも歩んできた人生があり、風はいつもそばで見ている、認めてくれている。人が自然の一部であるということを教えてくれ、存在を認めてくれているような優しさを曲に感じた。

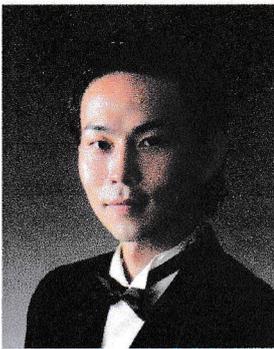
仲本 博貴 バリトン



2. 中国旅情より1.古廊

時の流れを象徴する“廃寺”、そして今もなお放つ寺の荘厳さ。かつてそこに在った自然や人々の思いを感じると、自分自身が「今に生きること」を考えさせられる。この曲の音符とシラブルの絶妙な一致を大切に音楽が導く詩の世界観を表現したい。

西條 智之 バリトン



3. 中国旅情より2. 雑草

壮大な情景ロマンを感じた。“雑草”は生まれた場所を離れることなく、移り変わる“民草”を見つめ続け真実を語る。栄枯盛衰、諸行無常、輪廻転生。この世とあの世、動植物と人間。分離した環世界を繋ぐ尊い響きが曲に込められていると感じる。

金城 理沙子 ソプラノ



4. 恋する猫のセレナーデ

ひたむきに、好きな人にアプローチする恋心が、徐々に、どうしようもない強い感情になっていくと感じる。その強い情感は、曲の中の猫の鳴き声にも表現されていると思うので、鳴き声を演奏するにあたり、私は女性の柔らかさ愛らしさを表現したい。

豊田 喜代美 ソプラノ



5. 光をください

この歌に希望を感じた。生きていけば必ず困難がある中で、天に向かって「光をください」と祈りつつ、全身全霊で努めることで、いつか、困難に打ち勝った新しい自分に出会える希望を感じた。二重唱「ちよつといい朝」は平和を信じて生きる事。

知念 利津子 ソプラノ



6. さようならの影

晩秋から初冬に向けて枯れ葉が舞い落ちる桜の木の情景描写がとても美しいと感じる。また季節の移ろいに温かいがどこか寂しさを感じるメロディは忍び寄る夕闇への不安を誘い、透明なピアノの響きの中で大きな感情となり、心を揺さぶる。

根神 夢野 ソプラノ



7. あの夏のまま

夏の独特な湿っぽさが、大切な人を失った悲壮・倦怠感を彷彿とさせる。《あの夏のまま》の詩からは、取り止めのない悲しみの中にだけ居ると感じるが、曲を歌うと、唯一、あなたのことを思うときは、悲しみの無い“あの夏のまま”なのだと感じる。

友利 あつ子 ソプラノ



8. 美しき川は

美しく流れる犀川と自然豊かな景色の繊細さが心深くに沁みこんでくるように感じ、つい、歌っていることを忘れてしまう感覚になる。そのメロディーはとても切なく、詩と曲が一つの川の流れとなって、私の中で郷愁への強い思いと重なる。

例 会

内 容

1. 15:00-15:30 発声の仕組み：良好な歌声を保つために

※ビデオによる講演 講師：喜友名朝則（耳鼻咽喉科医師）

歌うことが健康に効果をもたらすという実証例は多くあり、人生100年時代と言われる今、歌うことへの注目は増しているといえます。歌声はどのようにして作られるのか？という身体のメカニズムを知っていることで、自分の歌声が健康に保たれる方法を見つけることが容易になります。本協会では、歌う事の基礎知識として、繰り返し「発声の仕組み」の知識を多くの人と共有する機会を持っています。歌う人は、歌声が出にくくなったり、出なくなったりした経験を少なからず持っていると思います。身体は個別なので、最終的にはご自分で自分に最適な歌声のキープ法を見つけることとなります。「発声の仕組み」の知識は、それを助けます。

2. 15:30-16:00 ワークショップ：歌唱準備のための身体運動

講師：豊田喜代美（声楽家）

声楽の楽器は身体です。良い歌唱演奏のためには、先ず自分の身体の歌唱機能に注目して、それを安定的にキープすることに努めるのが効果的といえます。声帯は極々小さな筋肉です。徹底的に壊れたら元には戻らないので、壊れないようにするための方法として、歌唱前に軽い準備運動から始め、声帯を故障から護る歌声の共鳴を作りながら、歌っていきましょう。100人100とおりの身体と感性を持っています。アドバイスを受けながらも、最終的には、自分に最適な歌唱の身体状態に導くのは、自分自身になります。このワークショップが、自分自身と向き合う良い機会にもなり、楽しみながら歌唱力を向上させる方法を見つけるきっかけの場になれば幸いに思います。

3. 16:00-16:30 公開レッスン：受講者 花燈明佳 ピアノ 武田光史

講師：服部洋一 豊田喜代美（声楽家）

受講曲：ミュージカル《ザ・サウンド・オブ・ミュージック》より、テーマ〈ザ・サウンド・オブ・ミュージック〉

本日は、どのようにしてミュージカル・ナンバーをベルカント・ポジションで歌いこなすことができるかに焦点を当てて、レッスンをしていきたい。日本におけるミュージカルは、現在10代、20代の青年を中心として非常に人気を博している。しかし、実際にミュージカルのメイン・キャストの歌唱力を見ると、これは歌唱技術の高さではなく、アイドル的人気があり、そのネームバリューで主役を張っているのだなと強く感じる。喉から絞り出すような声、横隔膜と息に支えられた声ではなく胸を締めることで支えをとっている。これでは、声そのものの美しさ、表現力の豊富さは得られるはずもなく、日本のミュージカル界は、この部分を打開していかなければ、いつまで経ってもブロードウェイ水準には到底達し得ない。マイクなしでもホールに響くアコースティックな声楽歌唱力の養成が望まれる。（服部洋一）

受講生：花燈 明佳 Asuka Kato 沖縄県出身。琉球大学教育学部音楽教育専修卒業。声楽を、服部洋一、峰井浩子、白石隆生、本宮寛子各師に師事。在学中『琉大ミュージカル』へ参加し「クリスマスキャロル」「ハイスクールミュージカル」へ出演。現在はステージ活動の他、ナレーターとしてナレーションやCMソングを担当するなど、活動の幅を広げている。声のプロダクション キャラ OKINAWA 所属。浦添文化協会会員。

4. 16:30-17:00 声楽家ミニ・コンサート 友利 あつ子 ソプラノ

※内容は次ページに記載

武田 光史 ピアノ

❖ 友利あつ子 ミニ・コンサート ❖



演奏曲

- ▣ Gioacchino Rossini (1792-1868)
 - ・Il rimprovero (非難) 作詞 Pietro Metastasio
 - ・Arietta allantica (昔風のリエッタ) 作詞 Pietro Metastasio
- ▣ Gaetano Donizetti (1797-1848)
 - ・Ah! rammenta, o bella Irene (ああ 美しいイレーネよ 思い出してくれ)
作詞者不明
- ▣ Vincenzo Bellini (1801-1835)
 - Tre Ariette (三つのリエッタ) より
 - ・Il fervido desiderio (激しい希求) 作詞者不明
 - ・Vaga luna, che inargenti (優雅な月よ) 作詞者不明

プロフィール

友利あつ子 ソプラノ

沖縄県出身。武蔵野音楽大学声楽科卒業、同大学大学院修了。

ベートーベン作曲「交響曲第九番」ソプラノソロ、J.S.バッハ作曲「ロ短調ミサ」ソプラノ 1、ハイドン作曲「四季」ハンネ、他のコンサートに出演。オペラ公演では、《カルメン》フラスキータ、《愛の妙薬》アディーナ、中村透作曲南城市市政施行 10 周年記念オペラ《あちゃーあきぬ島～南城幻想曲～》官女役、他を歌っている。

本年6月、金井喜久子作品および編曲作品の演奏を企画し(糸数知と共に)、沖縄県出身の演奏家と共に演奏会を開催した(千葉県 J.COM 浦安音楽ホール)。東京二期会会員。日本歌唱芸術協会(理事)会員。

武田光史 ピアノ

神奈川県出身。東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。沖縄県立芸術大学大学院ピアノ専修修了。

第 22 回沖縄ピアノコンクールグランプリ受賞。2011 年度第 46 回沖縄タイムス芸術選賞奨励賞受賞。

2020、2021 年度(第 55,56 回)沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。2010 年より毎年、南城市文化センターシュガーホールにてリサイタル開催。各コンクールの審査員を務める。東京藝術大学同声会終身会員。日本ピアノ教育連盟会員。沖縄県立大学音楽学部非常勤講師。日本歌唱芸術協会(理事)会員。

例会講師略歴（講演順） 2022年7月現在

喜友名 朝則（耳鼻咽喉科医師）

琉球大学医学部医学科卒。医学博士(琉球大学)。
浦添総合病院耳鼻咽喉科医長。
琉球大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座非常勤講師。
前琉球大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座診療准教授。
日本耳鼻咽喉科学会専門医・専門指導医。
日本気管食道科学会専門医。
日本喉頭科学会幹事。
日本嚙下医学会嚙下相談医。
西日本音声外科研究会世話人。
音声言語機能等判定医 耳鼻と臨床学会会員。
日本歌唱芸術協会会員(理事)。

豊田 喜代美（声楽家 ソプラノ）

桐朋学園大学音楽学部声楽科卒業。国立法人北陸先端科学技術大学院大学博士前期・後期課程修了。ドイツ・ケルン音楽舞踏大学声楽科マスタークラス留学。博士(知識科学/国立法人北陸先端科学技術大学院大学)。
教会音楽家ドイツ国家資格 C 取得。
沖縄県立芸術大学・大学院教授/2010.4-2017.3。
東京大学教養学部非常勤講師/2018-2021年度。
ウィーン・ハプスブルク宮廷芸術友好協会、日本グレゴリオ聖歌学会、日本声楽発声学会(理事)、東京二期会、日本演奏連盟、日本歌唱芸術協会(代表理事)、各会員。
第11回ジローオペラ賞受賞(対象:二期会オペラ公演「セヴィラの理髪師」ロジーナ)。
第16回サントリー音楽賞受賞。(対象:オペラ「コジ・ファン・トゥッテ/デスピーナ」指揮:飯守泰次郎,オラトリオ「天地創造/ソリスト」指揮:小泉和裕,オペラ「ホフマン物語/全4役」指揮:小澤征爾,毎日ゾリスTEN主催リサイタル)

服部 洋一（声楽家 テノール）

東京藝術大学卒業。音楽博士(東京藝術大学)。
東京音楽大学及び大学院教授。
琉球大学名誉教授・非常勤講師。
東京藝術大学非常勤講師。
東京二期会スペイン音楽研究会特別講師。
台湾 SGI 青年部太平洋合唱団指導者・音楽監督。
台湾鈴木協会オーケストラ指導者・音楽監督。
日本歌唱芸術協会会員(理事)。

日本歌唱芸術協会事務局 090-7586-5976 jsaa.okinawa@gmail.com

12:57 研修会冒頭の挨拶開始

(豊田) 皆さま、日本歌唱芸術協会研修会によろしくお出でくださいました。奇しくも本土復帰50周年と同じ年に発足しました日本歌唱芸術協会は、「音楽は平和をはこんでくる」という理念に集う「場」です。音大などで専門的にクラシック音楽基礎を修めた会員と、歌が好きで声楽を愛好する会員とが、それぞれに研鑽し、交流し、歌唱芸術を楽しみながら自らの向上に努めていくことができる、そんな、皆さまに必要とされる「場」を目指します。本日は本協会名誉理事に就任下さった作曲家の池辺晋一郎氏を講師にお迎えしました。日本の作曲家の歴史をお話しくださり、引き続き、池辺晋一郎作曲の歌曲を演奏いたします。池辺晋一郎ワールドをご一緒に味わいましょう！それでは、池辺先生、どうぞよろしくお願いたします。

14:45 演奏会終了

演奏者全員が池辺氏を真ん中に立って、池辺氏に全員で拍手を送り、最後に正面を向いて礼。

15:28 例会アナウンス開始

1. (豊田) 皆さま、只今より例会を開催いたします。

喜友名朝則講師作成のビデオによります「発声の仕組み—良好な歌声を保つために」です。仲本先生、どうぞ開始して下さい。

2. (豊田) ワークショップ: 歌唱準備のための身体運動を始めさせていただきます。

3. (仲本) 公開レッスンを開始いたします。受講生はカトウ・アスカさんです。受講曲はミュージカル「サウンドオブミュージック」から「サウンドオブミュージック」です。服部先生は公開レッスンの様子を ZOOM で観ておられ、適時ご発言いただくことになっております。それでは、豊田先生、お願いたします。

4. (仲本) 声楽家のミニ・コンサートを開始いたします。演奏はソプラノの友利あつ子さん、ピアノは武田光史さんです。どうぞ。

17:30 例会終了時

役員全員が祭壇上に乗り、

(豊田) これで例会を終了いたします。コロナ禍であっても、私達は一緒に心の中で歌うことができます。最後に皆さまと黙って、心の中で「芭蕉布」を歌いましょう。詩を思い、イメージの中で大いに遊びましょう。ピアノが代わりに音を出して歌います。それに寄り添いましょう。⇒心の中で歌う♪ ありがとうございました。にふえーでーびる。11月6日の「歌の集い in 沖縄」でまたお会いしましょう。お健やかに過ごしてくださいますように。さようなら。また やーさい!